

歯科医師と歯科衛生士がインプラントの 外科的合併症から患者を守る

－スウェーデンでの経験を通じ、学んだこと－

大月 基弘

DUO specialists dental clinic



インプラント手術において、患者が最も心配することは外科的合併症であろう。“インプラントの術後の痺れ”“インプラント術後の死亡事故”“血が止まらない”などのメディアによる雑多な情報に振り回された結果、インプラント治療について、いろいろな恐れを抱いて歯科医院にやってくる患者も少なくない。しかし外科処置である以上、合併症を0にすることはできず、起こりうる合併症についてよく患者と話し合っておかねばならないことは確かである。日本でもスウェーデンでも、患者を扱っている点は同じであり、外科的合併症が起こる確率を最小限にする努力は大切であると考えます。



本日はスウェーデンでの留学時代に経験したことや、衛生士とのディスカッションを通して考えさせられたことなども加え、インプラントの外科的合併症について皆様とともに考えてみたい。

略 歴

| | | | |
|-------|---|-------|---|
| 1999年 | 広島大学歯学部 卒業 大阪大学歯学部附属病院 第二口腔外科 総合診療部在籍 | 2012年 | 同大学院専門医過程 卒業、ヨーロッパ歯周病/ インプラント専門医資格取得 (European Federation of Periodontology 認定) |
| 2002年 | 赤野歯科医院勤務 分院長歴任 | 2013年 | 日本臨床歯周病学会 認定医 DUO specialists dental clinic 開業 |
| 2010年 | スウェーデン王立・ イエテボリ大学歯学部 歯周病学科在籍 | 2014年 | 大阪大学歯学部附属病院 咀嚼補綴科所属 |

memo